

## 2021 英国国勢調査

Keeper Securityは、2021年以降に英国企業が直面するサイバーセキュリティの課題、脅威、機会について明らかにするため、英国全土の上級IT意思決定者1,000人を対象に調査を実施しました。

### 英国の組織は 攻撃を受けている

▶ **92%** 過去1年間にサイバー攻撃を受けたことがある

### そして被害はかなり大きい



情報漏洩により損失を被った企業の8%が**100万ポンド以上**の損失を被った



**72%** が少なくとも一度は侵害の被害に

### サイバーセキュリティのスキル不足が組織の**自己防衛能力**に影響を与えている

**61%**

の英国企業がサイバーセキュリティのスキル不足に陥っている

### お粗末なサイバーセキュリティ対策が英国企業を危険にさらしている



職場でパスワードを使いまわす

**31%**



'password'や'admin'などの弱いデフォルトの認証情報を使用する

**32%**



サイバー攻撃が成功した場合、自社のCTOがその矢面に立つと回答している

**34%**



サイバー攻撃を内緒にしていたことを認める

**36%**

### 英国のITリーダーたちは 政府の介入を望んでいる



**91%**

英国政府は、企業が事業や取引を行う上で、基本的なサイバーセキュリティ保護を義務付けるべきだと述べている



**87%**

企業に責任を負わせ、サイバー攻撃を減らすためには、全国的な規制機関が必要だと言う



**82%**

新入社員が会社で働き始める前に、基本的なレベルのサイバーセキュリティトレーニングを修了することを望んでいる。

詳細および2021年英国サイバーセキュリティ国勢調査報告書のダウンロードは[こちら](#)をご覧ください。